

防災会向け

ボウサイ通信

平成31年4月号

発行：豊橋市防災危機管理課

電話：51-3126

大切なのは



防災知識か 防災意識か

悩める「自治会の防災担当者」さん 応援企画



嘉永7年(1854)の地震による津波を描いた御厨神社の絵馬(豊橋市)

また、歴史的文献や、地域に残る災害石碑などから、過去の災害を学ぶことも大変有効な防災対策だと思えます。

また、「意識」という面では、災害を自分の事としてとらえ、自分の家の中や近所の危険箇所を確認すること、避難所で共同生活をするにあたっての心構えや助け合いの精神を醸成することがこれあたりです。また、被害想定にとらわれすぎず、さらなる防災対策を考えることも重要です。地域の共助による防災対策を進める上で、この「知識」と「意識」は車の両輪のようなもので、どちら

とある校区の防災担当の方よりご質問いただいた内容を紹介させていただきます。

地域住民に防災を浸透させるために、「知識と意識のどちらを優先させたらよいか？」という質問でした。

「知識」の面では、「**豊橋市防災ガイドブック**」や「**ちずみる豊橋**」でわが町の被害予測の確認や対応策を検討することも重要なことと思えます。



が欠けても成り立たないものです。自治会の防災リーダーさんはじめ、多くの防災担当者さんは毎年訓練内容に頭を悩ませていることと思えます。訓練は、同じ内容の繰り返しも新しいことに挑戦することも重要ですが、「**知識**」と「**意識**」のバランスについても、この機会にぜひ考えていただきたいと思います。本市では防災訓練を企画しやすいように「**防災訓練メニュー**」を準備しています。

お困りの方は遠慮なくご相談ください。



平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）では、豊橋市から多くの職員が被災地に派遣されました。倉敷市の避難所で見られた避難者の困りごとと、それに対し行った支援を紹介しします。みなさんの校区の避難所運営や訓練にお役立てください。



着替える場所がない



こども達と作成したタオルの目隠しを使い更衣室を作りました。

女性用の物干し場がない



地元の方に避難所の中で目立たない場所を教えてもらい、女性用物干し場を作りました。

必要な物が行き渡らない



支援物資の配布は男女とも参加する。トイレに生理用品を置くなどの工夫をする。

【防災に女性の参加と目線を取り入れる検討会】豊橋市では大規模災害時に起こりうる問題を、女性の目線で考える取り組みを進めています。



平成 30 年度は「避難期のレスパイト（介護者等の一時休息）についての提案書」を作成しました。詳しくは ←QR コードでチェックして下さい。



栄校区/栄小学校

栄校区自主防災会は、平成 30 年 11 月 24 日（土曜日）に校区防災訓練を実施しました。毎年恒例となった防災訓練に新しい風を取り入れようと **搜索救助犬活動団体** に交渉して、栄小学校のグラウンドで公開訓練を実施しました。



指示通りに動けるかの訓練から、はしご渡りなどを行い、最後の要救護者発見訓練では、嗅覚で箱に隠れている人を見つけ「ワン！ワン！」と吠えて指導手に知らせる動きに、参加者の皆さんからは「おおー！」と拍手と歓声が沸き起こりました。

校区の訓練が他の訓練と **コラボ** することで、より多くの人に **防災に興味を持ってもらえる素晴らしい取り組み** です。

搜索救助犬活動団体「HDS K9」の主要メンバーのふたり？！



新しい活動を紹介し
情報募集

新しい取組や、
おもしろい取組

防災会ニュースで紹介させてください。

豊橋市役所 防災危機管理課 TEL 52-3126

豊橋市防災キャラクター

「**ボウサイマンズ**」

応援よろしくをお願いします！

